

神奈川県立大磯高等学校

令和5年度第1回学校運営協議会 議事録

日時 令和5年7月12日(水) 15:00～

場所 本校会議室

出席者

立花	ますみ	大磯高等学校 校長
八木	英一郎	東海大学経営学部教授
北澤	浩一	大磯高等学校 同窓会会長
櫻井	英明	大磯町立大磯中学校 校長
常盤	健嗣	大磯高等学校PTA会長
小澤	香苗	タウンニュース 大磯・二宮・中井編集長
村上	実樹	湘南ケーブルネットワーク アナウンサー
小嶋	勝己	大磯町東町自治会長

欠席者 齋藤 永悟 大磯町政策総務部政策課長

事務局 副校長、事務長、教頭、教務G(菊川)、進路指導G(穴田)、
研究開発G(奥川)、生徒支援G(関根)、総務G(芳賀)、
研究開発G(中澤)(大池)

出席 18名

議事 司会…事務局(研究開発G)

- 1 校長挨拶
- 2 学校運営協議会委員委嘱
- 3 委員紹介(自己紹介)
- 4 議長選任 八木 英一郎 東海大学経営学部教授
- 5 令和5年度学校評価報告書(目標設定)について 副校長
- 6 各グループより(学校評価報告書にそって)
教育課程・学習指導 教務G、研究開発G
 - ・習熟度別学習、選択授業、新たな学習評価、授業改善、ICTの活用状況生徒指導・支援 生活支援G
 - ・部活動の状況(入部状況、成果)、教育相談体制、生徒の抱える課題
 - ・体育祭、文化祭について

- 進路指導・支援 進路指導 G
 - ・進路実績、進学支援体制
- 地域等との協働 総務 G、生徒指導 G
 - ・ P T A 活動、地域との連携による防災訓練
- 学校管理・学校運営 副校長、総務 G
 - ・不祥事防止の取り組み、広報活動

7 グローバル教育推進研究指定について 研究開発 G

8 制服改定について

9 意見交換、質疑

①主体的に学習に取り組む態度について現状どのような評価をしているか。(八木様)
→振り返りシートを活用して評価している。今後、全体で前期評価方法の共有していきたい。(菊川)

・大学はレポートなどで評価しているが高校はどうか。(八木様)
→レポートを出した回数などではつけないようにしている。主観的な評価にならないようにしている。(副校長)

・中学校も評価に苦戦している。何を持って生徒が変容したとするのか、どう見とるのか、試行錯誤している。(櫻井様)

②家庭学習をしない生徒が多い要因についてなにか見解はあるか。(常盤様)
→のんびりしている傾向があり、勉強以外に関心のある生徒が多い。また、地方は地元国公立大学を目指す生徒が多いが、神奈川は選択肢が多すぎる。
やりたいことが見つからず将来の夢、進路があいまいな生徒も多い。高校では大学に行って何をしたいのかを考えさせる指導をしている。(穴田)

③保護者が直接情報にアクセスできるものが欲しい。(常盤様)
→学校のホームページは県で共通フォーマットなのでそこに情報を掲載することは難しい。別にホームページを作ることはできるかもしれない。現状は磯高メールを活用している。そちらで生徒にプリント等の配布を伝えることは可能。

④八木：進学実績が伸びた要因として考えられることはなにか。(八木様)
→コロナ渦で生徒の学習の進度が二極化した。上位層がより勉強するようになったからだと思う。また、若手の授業が良くなった。ICT を活用するなど工夫をし、生徒のやる気を引き上げている。(穴田)

・ICT の活用とは具体的にどんなものがあるか。(八木様)

→YouTube を使って反転授業を行っている。プロジェクターを使って授業を行う教員もいる。教員に iPad が配布されて変わってきた。(奥川)

・受ける数が増えたというより合格率が上がったのか。(八木様)

→家庭の経済事情的にも複数校受験は減少傾向。合格率は上がっている。(穴田)

⑤SSW、SC 訪問によって変わったことはあるか。(櫻井様)

→今年度から SSW が必ず週に 1 回になり、相談できる回数が増えたのは大きい。生徒たちを SC、SSW に繋げやすくなった。(関根)

・SC、SSW は学校内に部屋があって生徒が訪れる形なのか(村上様)

→本校にはトークルームがあり、週に一回生徒が相談をできる環境が整っている。担任が生徒に話を聞き、SSW や SC に繋げるときもある。また、SC や SSW が授業を見回って必要があれば担任に報告している場合もある。保護者向けに来校日を知らせる通知も作成している。(関根)

10 議長解任

11 閉会の挨拶 教頭